



八戸学院光星の初戦で、散発4安打に抑えて完封した洗平比呂＝12日、阪神甲子園球場



詳報 12、13日

関連記事 20、21日

兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われている第105回全国高校野球選手権大会で、2年連続12度目の

出場となった青森県代表の八戸学院光星は12日、初戦の2回戦でノースアジア大会大勝した。光星が初戦を突破するのは出場11大会連続。

光星 初戦快勝

明桜（秋田）に7-0

両チーム無得点で迎えた五回、光星は1死二、三塁から砂子田陽士の中前2点適時打で均衡を破った。さらに、主砲の中澤恒貴主将が左中間へ適時二塁打を放ち、一気に3点を先制した。

七回には、長打力のある藤原天斗が左翼席に3点本塁打をたたき込んでリードを広げ、八回にも西尾太晴の犠飛で1点を追加した。

先発した左腕エースの洗平比呂は序盤、制球に苦む場面もあったが、尻上がり調子を上げた。伸びのある速球に変化球を効果的に織り交ぜ、散発4安打に抑えて完封した。

注目の東北勢対決に勝利し、光星の応援団が陣取った三塁側アルプススタンドは歓喜に包まれた。

光星の3回戦は大会第10日の15日。第3試合（午後1時10分開始予定）で、8強入りを懸けて文星芸大付（栃木）と対戦する。

取材班